

令和3年7月9日

報道機関 各位

ワクチン接種推進チーム
総括 幡中 力

ワクチン廃棄処分について

市内医療機関において、ワクチンを冷蔵保存している冷蔵庫の庫内温度が上昇していることが判明し、保存していたワクチンを廃棄処分する事例がありましたので報告します。

記

判明日時:令和3年7月7日(水)午前9時30分
廃棄処分数:20バイアル(120人分)

【経過】

通常診療に入る前の準備作業で、ワクチンを保存している冷蔵庫の温度計を確認したところ、10℃となっていた。

医療機関から連絡を受けた推進チームが、ファイザー社に確認したところ、冷蔵保存は2℃から8℃までと定めており、今回の事例は温度逸脱状況が不明で、安全性の担保は出来ない為、廃棄するよう指示を受けたので、使用せずに廃棄処分とした。

【対応策】

当該医療機関では、温度上昇のあった冷蔵庫によるワクチン保存から、他の冷蔵庫を専用冷蔵庫として使用し、保存することとした。

推進チームから、市内協力医療機関全てに対して、ワクチン保存に関する冷凍冷蔵庫の使用について、再度、注意喚起を促した。

【市長コメント】

今回の事例に関して、大変貴重なワクチンを廃棄処分することになってしまい、残念であるとともに、市民の皆さまにお詫びを申し上げます。

市民の皆さまに安心して接種を受けてもらえるよう、しっかり取組んでまいります。

－ 本件問合せ －

ワクチン接種推進チーム 小井・古木 072 (479) 5672